

有馬郡

て攝河の二國は、大伴氏の食地ならんかといふ也。さて大伴はおほども、雄伴はをどもと言
を略してとなへしなるべし。略下

〔攝津志〕十、有馬郡東至河邊郡界、西至播州美靈、加東二郡界、南至

〔三代實錄〕陽成三十八、元慶四年十月廿七日丁未、免攝津國河邊郡人九世從七位下川原公福貞、無位川

原公福繼、有馬郡人無位川原公千被、河邊郡人十世從八位下川原公夏吉、大初位下川原公有利等

五戸課徭

〔應仁後記〕下、四國勢蜂起、攝州所々合戰事、附若槻伊豆守辭世事

攝州勢ニハ、池田故筑後守ガ嫡子池田三郎五郎、時ヲ得タリト馳來テ、某今度攝州口ノ先陣ス仕

ラント、同國有馬郡田井ト云處ニ出來テ、勢揃セシ處ニ。略下

〔信長公記〕十二、天正七年四月廿八日、有馬郡迄、中將信忠卿御馬被入、是より直に野瀨郡へ御働耕

作雜捨

能勢郡

〔攝津志〕十三、能勢郡東至島下郡界、西至河邊郡界、南

〔續日本紀〕元明和銅六年九月己卯、攝津職言、河邊郡玖左佐村、山川遠隔、道路嶮難、由是大寶元年始

建館舍、雜務公文、一准郡例、請署郡司、許之、今能勢郡是也

〔倭名類聚抄〕攝津國住吉郡 住道須無 大羅於保與 杭全久未 餘戸、 榎津以奈

百濟郡 東部 南部 西部

東生郡 古市智不留 郡家 酒人 味原寺原高山 餘戸

西成郡 長源 安良 伏見布之美 槻本毛止 郡家 宅美 讚楊 雄惟 三野 津守 驛家

餘戸

島上郡 濃味 兒屋 眞上美未加 服部波止 高上